研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-169		17-092	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

The health-related social costs of alcohol in Belgium.
ベルギーで飲酒が医療経済に及ぼす費用負担について

執筆者

Verhaeghe N, Lievens D, Annemans L, Vander Laenen F, Putman K.

掲載誌

MC Public Health (2017) 17:958 DOI 10.1186/s12889-017-4974-4

キーワード	PMID
アルコール、疾患、医療経済、コスト、ベルギー	29246218

要　旨

目的：
ベルギーにおける、飲酒がもたらす医療経済への悪影響を算出する。

方法：
2012 年の有病率をベースにしたデータを用い、飲酒による直接的、間接的、及び無形コストを算出した。飲酒の医療経済に対する寄与危険割合は過去の文献を用いて算出した。間接的コストに関してはヒューマンキャピタル法を用い、無形コストに関しては障害調整生命年（disability-adjusted life years; DALY）を用いて推定した。シミュレーションを用いた費用推定の不確実性の評価と代替モデルを用いた影響を検討するために感度分析とシナリオ分析を行った。

結果：
2012 年における飲酒に起因する直接的コストは 9 億 610 万ユーロ、その多くが入院に伴う費用だった（7 億 4370 万ユーロ、82%）。間接的コストは 6 億 4260 万ユーロで、その 62%が若年死によるものだった。アルコールによる障害調整生命年は 157,500 であり、それによる無形コストは 63 億ユーロであった。

結論：
この種の研究には本質的に限界が伴うものの、ベルギーにおける飲酒の健康問題に関連する経済影響に関して最も総合的な分析内容であると考える。